

櫻沢 保議員
さくらざわ たもつ

問 町指定保養所の 利用補助金の廃止について

答 復活するつもりはありません (町長)

問 廃止された指定保養所の補助制度は、年3泊を限度に大人1人当たり1泊2000円、子供1500円が補助される制度。平成26年度の利用者数は、1140人(利用率は人口の9.9%)・延べ利用者数は、1501人と利用者数は、1501人と利用実績も多く、町民の間で大変好評でした。

いる指定保養所の補助制度を復活すべきではないか。

町長

今後、医療・介護費用の増大が見込まれることからこの予算を健康づくりに振り向けたいため、代替案を用意して廃止した。復活するつもりはありません。

一方、代替案の町民保養地事業は、1泊2000円の補助もなく旅行会社との併用・インターネット予約・他の割引との併用もできないところが大きな問題点です。宿泊可能日数を減らすこと等により、町民の多くが望んで

寄居スマートインター西地区産業団地整備に係る土地買い取り等について

問

産業団地の整備は、県が農地等を造成

し、民間会社に工場等の用地として、販売すること。お金のない財政状況の厳しい町が、どうして民間用の工場用地を購入するのか。町が買い取り、その土地を建設残土や資材置場とすることは、おかしくないか。町が買い取る価格は、概算いくらですか。

思われるが、掘削・土盛等が行われ、4.5メートルの高さに土盛している一方深く掘削しているところも数多く存在します。農地法上において、なんらの問題もないのか。

町長

県と町、土地所有者の合意文書によ

町長

県から面積が小さい土地(約5000平方メートル)について、産業団地用地から除外するか、町が購入するよう依頼され購入予定。価格は概算で約4000万円。

問

町が購入予定としてある土地は、農地と



現地の状況

り、土地に埋設されている廃棄物や汚染された土壌については、土地所有者の負担で撤去する取り決めとなっています。試掘を行ったところ建設廃材の燃え殻と堆肥のような埋設物が確認されたため、土地所有者が掘削し撤去した。撤去後、土地の分析を行った結果、PCB・重金属は含まれていないこと及びダイオキシンも基準値内であることが確認されています。なお、町として農地への是正を求め土地所有者が土中の埋設物を撤去したものであり、農地転用許可は必要ないかと判断しています。



まだまだ暑い日が続きます。ブルーベリーを食べて元気にね。

塩原 浩議員

消防団装備の充実強化について

答 消防団活動において不足する装備は計画的に配備を進めていきます(町長)

問 思いがけないさまざなな大規模災害が発生しており、町民の皆様も生命・身体・財産など安全確保が緊急の課題と認識しています。消防団の一層の充実強化のため、装備の改善等について伺います。

町長 町の消防団では、消防団活動に支障が生じないよう、計画的に装備の充実を図っています。今後、消防団活動において不足する装備については、各種補助事業などを活用して計画的に配備を進め、より一層の充実強化に取り組みます。

町長

問 分団車庫について、これからは地域防災

町長

問 消防団車両に走行中の映像が記録さ



特別点検の放水訓練

れるドライブレコーダーの設置について伺います。

町長

ドライブレコーダーは、消防車両の走行中はもとより、災害現場の状況なども記録・撮影で

問

安全装備の配備について。分団員の命を守る保安帽(ヘルメット)は他人と共有し、肌に直接触れますので感染症対策が必要と思えますが、見解を伺います。また、耐切削手袋(作業用手袋)についても、団員の安全を守る上で個人貸与などを考えてもらいたいと思えます。

町長

保安帽は、消防団とも十分協議しながら、適切に対応していきたく思っています。



問

地区公民館の利用方法について

田端 恵美子議員

答 防犯対策のため機械警備を導入しました(教育長)

問 町に登録されている団体等は、カードキーの導入により大変使いやすくなったと聞きます。また、そのような中、例えば鍵の借り方・返し方について、登録してなくてもその都度利用する人、例えば高齢者の人たちから「使づらい」との声が上がっています。町民が使いやすいように配慮していただけていますが、より多くの町民が施設で交流を深めていただけるように、伺います。

用団体の利便性を図るため、地区公民館定期利用の36団体にカードキーを1枚貸与しま

した。また、年1回程度利用する団体については、中央公民館窓口において公民館使用申請書を提出していただき、カードキーの操作方法を初め、施設の利用説明を行ってからのカードキーの貸し出しを行います。カードキーの返却は、地区公民館に設置している鍵回収箱に返却いただき、従前と変わらない対応をお願いしています。「カードキーがちよっと心配」という点が

問

開かれた地区公民館の利用方法を取り入れればそこへ集い、健康なお年寄りがふえてくるのではないかと思いますの町長に伺います。

町長

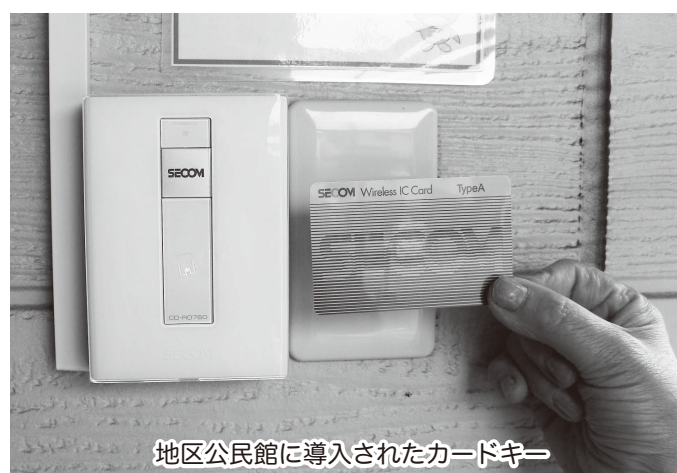
2回という形で不定期に利用する場合には、やはり今のような形で申請をいただくことは免れないと思っております。その辺で定期利用団体の定義は、また弾力的な



東児玉公民館にて



教育長 このたび、地区公民館3館に防犯対策のための機械警備を導入しました。それに伴い、公民館利



地区公民館に導入されたカードキー

問

「災害時の協力井戸」の実施について

柳瀬 忠作議員

答 積極的に登録への協力を呼びかけています (町長)



井戸の登録・協力をお願いします

問 大規模な地震等の災害により長期間断水が発生した場合、生活用水を確保することは重要です。そこで前回、災害の発生時に限り無償提供していただける個人等の所有・管理する井戸を町で募集し、登録要件を満たした井戸を登録。その登録井戸を「災害時の協力井戸」として各行政区の区長・自治防災組織等に情報提供していただけないかと提案しました。この災害時の協力井戸の実施について、現在町長はどのように考えているか、また、今後災害時の協力井戸をどのように取り扱うつもりなのか伺います。

町長 井戸は災害時に有効な防災施設になるという認識のもと、美里町災害時協力井戸に関する要綱を定め、平成27年8月1日から施行しました。周知は、区長会・広報みさと・自主防災組織の図上訓練等において行い、生活用水を確保することの重要性や災害時協力井戸の制度説明、活用方法をPRするなどして、積極的に登録への協力を呼びかけています。



なお、現在登録までには至りませんが、登録した災害時協力井戸は、災害等による断水時に飲用以外の生活用水として地域住民の方々に無償提供できるよう、情報提供及び公表を行います。

今後も引き続き災害協力井戸制度の説明、登録への協力についてPRしていきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

また、まだ登録がないので、区長会とも協議して、現実的な対応を考え、ご指摘を踏まえながら再構築をしたいと思います。



災害による断水時には飲料水のほかに生活用水が必要だよ。眠っている井戸はありませんか？

みみリンのつぶやき

問

認知症の早期発見と対策について

原田 敏夫議員

答 脳の元気度チェック相談会を実施しています (町長)

問 全国的にテレビや新聞などで、認知症の患者が年々増加傾向にあると報道されています。当町では、認知症の患者数を把握しているのか伺います。

町長 認知症は脳の病気が原因で認知機能が低下し、正常な日常生活が行えなくなった状態で、高齢化が進む中、現在65歳以上の7人に1人、85歳以上の4人に1人が認知症の症状があるとされており、大きな社会問題となっています。町全体での正確な認知症数は把握できていませんが、介護保険の要介護認定者に限って言えば、日常生活自立

度2以上と医師が判定した方は、現在398名となっています。

問 認知症は早期に見出し、初期段階で病状を把握して治療することにより長期間普通の生活に戻ることができると言われています。そこで、医療及び介護並びに在宅復帰についてのの方策を伺います。

町長 当町では、早期発見の手段の一つとして、今年3月から地域包括支援センターにおいて、脳の元気度チェック相談会を毎週火曜日の午前中に実施しており、その結果、必要に応じて埼玉県が設置している認知

症疾病医療センターなどの専門医療機関を紹介し、早期診断に結びつける仕組みを構築しています。また、認知症の専門医療機関や町内及び近隣の医療機関との連携を図りつつ、在宅生活の継続のため、介護機関との密な連携体制づくりを引き続き進めていきます。



問 認知症患者が徘徊し、道に迷い、家に帰れないこともあり、交通事故等に巻き込まれる心配もあります。町としての対応について伺います。

町長 当町では徘徊高齢者の早期発見のため、専用の機械をお持ちいただき、現在の位置を探索でき

る徘徊高齢者等探索システム(GPS)を導入しており、必要に応じてご家族に利用をお勧めしています。基本としては地域の身近な方々のご協力をいただくという方法と、探索システムの両方をつまぐ組み合わせるということが、一番なのかなと思っています。



身近なお年寄りの言動が気になったら、民生委員さんまたは地域包括支援センターに相談してね。

みみリンのつぶやき

GPS 携帯端末機

